

防衛大臣

小泉 進次郎 様

陸上自衛隊「第48普通科連隊」の
体制維持等に関する要望

令和8年10月

群馬県

群馬県市長会

群馬県町村会

陸上自衛隊「第48普通科連隊」の

体制維持等に関する要望

令和4年12月に閣議決定された「防衛力整備計画」において、スタンド・オフ防衛能力やサイバー領域等の能力強化に必要な人員を確保するため、即応予備自衛官を主体とする部隊を廃止し、常備自衛官の増員所用に充てるなど、自衛隊の体制・基幹部隊の見直しが示されております。

我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、防衛力の強化が重要な課題であることは十分に認識しております。

一方、こうした見直しが、群馬県榛東村に所在する陸上自衛隊第48普通科連隊にも及ぶ可能性があることについては、地域住民はもとより、県内自治体や関係団体にとっても大きな関心事となっております。

第48普通科連隊は、平成13年3月に第12旅団隷下の軽普通科連隊として、即応予備自衛官を主体とする部隊として新編され、平成25年3月に東部方面混成団隷下に編合された後も、国防・防災をはじめとする重要な任務を担ってまいりました。

また、相馬原駐屯地を拠点として、榛東村や部隊周辺地域の行事や各種活動・訓練にも積極的に協力いただいております、長年にわたる活動を通じて、地域住民との信頼関係を築いております。

こうした自衛隊と地域との結び付きは、単に一つの部隊と地元自治体との関係にとどまらず、地域コミュニティの維持・活性化や、災害発生時の県内の安心・安全を支える重要な基盤となっております。

また、今後、首都直下地震や南海トラフ地震などの大規模災害の発生が危惧されるとともに、気候変動の影響による豪雨災害の激甚化・頻発化も指摘されており、災害対応における自衛隊の役割に対する地域の期待は一層高まっております。このような中、第48普通科連隊の存在は、住民の安心・安全を支える上で極めて重要であります。

さらに、「防衛力整備計画」においても、自衛隊の部隊の存在が地域コミュニティの維持・活性化に大きく貢献していることを踏まえ、部隊の改編や駐屯地等の配置・運営に当たっては、地方公共団体や地元住民の理解を得られるよう、地域の特性に配慮することが示されております。

この趣旨を踏まえれば、第48普通科連隊についても、これまで地域と築いてきた信頼関係や、地域における役割を十分に考慮することが重要であります。

よって、「防衛力整備計画」における提言が国の防衛政策という大変重要な国策の遂行であることを十分に理解しつつ、地域の実情と住民の声を踏まえ、下記の事項について強く要望いたします。

記

1. 第48普通科連隊の体制及び機能を維持すること

第48普通科連隊については、これまで果たしてきた国防・災害対応に加え、地域の防災・減災や地域コミュニティの維持・活性化にも重要な役割を果たしていることを十分に踏まえ、今後懸念される首都直下地震や南海トラフ地震などの大規模災害に伴う広域避難者の受入れや緊急輸送路の確保、さらには気候変動の影響による豪雨災害の激甚化・頻発化への対応など、県民の生命・財産を守るための迅速かつ的確な災害対応を確保する観点からも、現在の部隊機能及び体制を維持すること。

2. 部隊の見直しに当たっては、地域の実情に十分配慮すること

自衛隊の基幹部隊等を見直しを行う場合には、地方公共団体や地元住民への十分な説明と意見聴取を行うとともに、その意見を十分に踏まえ、これまで培われてきた自衛隊と地域との信頼関係や、地域における自衛隊の役割を十分に考慮すること。

令和8年10月2日

群馬県知事 山本 一太

群馬県市長会 会長 富岡 賢治
(高崎市長)

群馬県町村会 会長 熊川 栄
(嬭恋村長)